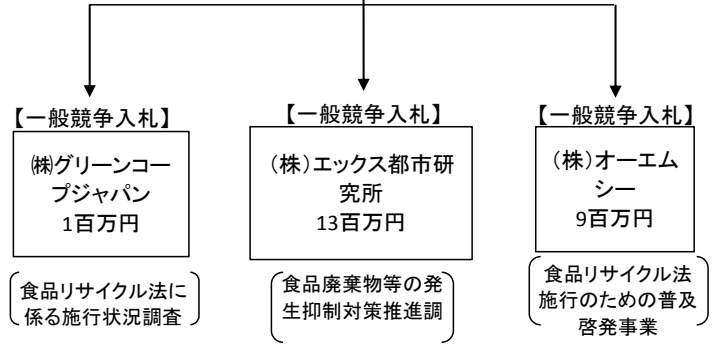


行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	食品リサイクル推進事業費		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部局庁	廃棄物・リサイクル対策部		担当課室	リサイクル推進室	室長 上田康治	
会計区分	一般会計		上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	食品製造業や食品卸売業においては、再生利用等の実施率は比較的高いものの、食品小売業や外食産業においては、再生利用等の実施率は比較的低い。そのため、食品流通における小売業・外食産業をはじめとした食品関連事業者の再生利用等の実施率を向上させることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	食品リサイクル法の基本方針に示された食品関連事業者の再生利用等実施率目標を達成するため、国は必要な措置を講ずるよう努めなければならないと定められており、再生利用等の実施に資するためのリサイクルループ形成の促進や、登録再生利用事業者の育成を行う。また、各事業者の再生利用等実施の意欲を向上させるため、優良事業者を表彰する。 また、平成24年には法の見直しを控えており、法の施行状況などを勘案し、必要な措置を講ずることとされており、そのための施行状況の調査等を行う。					
実施状況	食品廃棄物等の発生抑制対策を推進するため、食品関連事業者及び消費者の行動形態の変革を促すための効果的な方策の検討を行った。 リサイクルループ形成促進・登録再生利用事業者育成のためのセミナーを行った。また、食品リサイクル推進環境大臣賞の授与を行った。 食品リサイクル法に係る施行状況の調査を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	19	30	23	17	16
	執行額	5	28	23		
	執行率	26%	93%	100%		
	総事業費(執行ベース)	5	28	23		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業実施等の状況把握については、事業者との間で、電話や電子メール等で連絡するとともに定期的に当省担当者との打合せ会議を行い、常に事業の進捗状況や達成状況を確認している。				
	見直しの余地	引き続き競争性のある契約を実施するとともに、事業の進捗状況については、随時連絡を取り把握に努める。 食品リサイクル法に係る基本方針に定められた再生利用等実施率の向上のため、リサイクルループの形成促進や再生利用事業者育成事業を行う。 優良事業者の表彰については、過去3回行い、一定の成果が認められることから、事業の見直しの結果、一部の予算を縮減したところ。 また、平成24年度の法の見直しに向けて、施行状況の調査等を行うとともに業務の簡素化のため可能な限り事業を統合して執行する。				
予算チームの監視・所見率	一部改善 (複数年にわたり実施している事業であり、事業内容を精査・重点化しつつ、平成24年度の法の見直しに向け、適正かつ効率的な執行に努めるべき。)					
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

環境省  
23百万円



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出さ  
 れている者につ  
 いて記載する。  
 使途と費目の  
 双方で実情が  
 分かるように  
 記載)

A.(株)グリーンコープジャパン			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	食品リサイクル法に係る施行状況調査	1			
計		1	計		0
B.(株)エックス都市研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	食品廃棄物等の発生抑制対策推進調査	13			
計		13	計		0
C.(株)オーエムシー			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	食品リサイクル法施行のための普及啓発	9			
計		9	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0